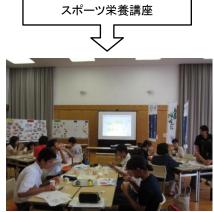
藤沢市ジュニアアスリートスポーツ栄養講座~めざせ東京2020オリンピック・パラリンピック 事業名 ~事業 担当課名スポーツ推進課 団体名 特定非営利活動法人 湘南栄養指導センター |2018年(平成30年)4月1日~2019年(平成31年)3月31日 事業期間 568,966円(うち藤沢市負担金520,680円) 事業費 <事業の目的> ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技の開催を契機に、スポーツに励むジュニア世代・ 指導者・保護者等に対し「スポーツ栄養講座」を開催し、正しい栄養知識とスキルを習得させる ことで「自分もトップアスリートとして参加できる可能性がある」と意欲を高めてもらう。 ・パラスポーツを体験することにより東京オリンピック・パラリンピック競技大会を身近に感じ、 家庭を中心とした幅広い層に対し、関心度の底上げを図る。 目的 <協働の目的> ・会場確保、受付やアンケート、資料の準備など、行政が事務局であることで信頼度が上が る。 ・行政の行政内や学校等各団体への広報力は大きな力となる。 ・スポーツ栄養に関して、専門的な知識を有し、経験豊富な団体が講座を開催することで、市 民の健康増進に寄与するだけでなく、競技力向上等も図ることができる。 市民、特にスポーツに取り組むジュニア世代や保護者・指導者が、正しい栄養知識を得ること で、食生活を改善し、子どもたちの心身の健全育成、競技力等が向上すること。 目標 ・パラスポーツ体験によって東京オリンピック・パラリンピック大会を身近に感じ、関心度の底上 げを図ること。 担当課 80% <事業の達成度> 団体 80% ・講座は、ベーシックな内容であり、スポーツ栄養に関心はあったが、実践できていなかった 方々にご参加いただけた。全4回の講座予定であったが、2回目の講座は台風のため中止。1 回目の講座は、中高校生の参加しにくい日程で受講者が定員に満たなかった。 講座開催3回 参加者52人 ・アンケート結果から本講座は好評であり、理解度も高く、正しい栄養知識の習得の一助とな り、子どもたちの心身の健全育成や競技力等の向上に寄与することができた。 ・ボッチャ体験を実施することで、パラスポーツに関心を持つきっかけを作ることができた。 ・東京ガス(株)神奈川西支店にも協力いただき、行政・企業・市民団体の協働事業として実施 できた。 <協働の達成度> 団体 90% 担当課 90% ・事務局を行政が行い、団体は講座の開催に注力できた。市の主催ということが大きな後ろ盾 達成度• I・NPO法人、包括的連携協力協定締結企業、行政が協働し、互いの役割を理解し実行できた 成果・効果」ことで満足度の高い講座を開催できた。 スポーツ栄養講座 スポーツ栄養講座





ポスター

課題・ 対応策 事業のニーズや対象者、対象者が参加しやすい日程などの把握が課題。7月に開催した2回の講座は、対象者を中高生にしたが申込みが少なった。夏休み期間中であったが、合宿や遠征等で本人達の参加は難しかったことが予想できる。次年度は、対象者の拡大、参加しやすい日程での開催を検討する。